

<チャリティ専門部会 開催概要>

- 【日時】 2013年9月6日(火) 午後3時～午後5時
- 【会場】 読売新聞大阪本社 14階A会議室
- 【出席者】 座長 橋爪紳也氏(大阪府立大学 特別教授)
- 委員 杉本厚夫氏(関西大学 人間健康学部教授)
- 尾上達郎氏(読売光と愛の事業団 理事)
- 徳永真一郎氏(電通関西支社 統合ソリューション局長)
- 窪田邦倫(読売新聞大阪本社 常務取締役事業本部長)
- ゲスト 梶川拓也氏(一般財団法人 ジャスト・ギビング・ジャパン事務局長)
- 進行 橋本誠司(読売新聞大阪本社 大阪マラソン事務局長)

【議事】

- (1) 第3回大阪マラソン チャリティ事業について
- (2) 第4回大阪マラソン 寄付先団体公募について
- (3) その他

【議事録(要旨)】

- (1) 第3回大阪マラソン チャリティ事業について

第3回大阪マラソンでは、京都大学iP S研究所長の山中伸弥さんをはじめ、ミュージシャンのコブクロ・小淵健太郎さん、野球評論家の赤星憲広さん、元NFLチアリーダーで日本人初のチームキャプテンを務めた小島智子さん、フリーキャスターの八木早希さん、ミスユニバース2007の森理世さんの計6人がチャリティアンバサダーを務める。チャリティアンバサダーには、可能な限り各自のネットワークなどで大阪マラソンのチャリティへの協力について告知をしてもらうよう要望している。

今年の新たな取り組みとして、「なないろチャリティTシャツ」をエントリー時に申し込んだ方に販売した。販売価格は4,000円で、そのうち、2,000円が寄付金となる。結果的には、1万4,210人が購入し、2,842万円の寄付金が集まった。エキスポ会場では、限定300枚のチャリティTシャツを販売する。

- (2) 第4回大阪マラソン 寄付先団体公募について

- ①大阪マラソンのチャリティの活性化や、寄付先団体が主体的にチャリティ文化の普及に取り組むきっかけとなることを目的に、第4回大会から寄付先団体の公募を行う。
- ②第3回大会に引き続き、虹の7色にちなんだ7つのチャリティテーマを設けて、各テーマに沿った団体を選ぶ。各カラーの寄付先団体数については、応募状況に応じて決

定する。

- ③公募に際しては、チャリティへの主体的な取り組みや、大阪マラソンのチャリティプログラムの積極的な情報発信、団体の信頼性などを踏まえた応募資格を策定する。
- ④第4回大会でもファンド・レイジング・サイト「Jusut Giving Japan」を活用してチャリティランナーを募集する。寄付先団体は、1口10枠として2口（20枠）以上の枠数を公募の応募時に申請し、後日、申請枠数の費用を大阪マラソン組織委員会に支払う。チャリティランナーの寄付金目標額は、1人当たり7万円以上とする。
- ⑤寄付先団体は、大阪マラソンEXPO2014にチャリティブースを出展し、スタッフを派遣するとともに、チャリティランナーへのホスピタリティサービスを行うこととする。
- ⑥寄付先団体の活動期間は2014年度内として、活動実績次第で次年度でも継続することを可能とする。
- ⑦選考基準に基づいて、大阪マラソン組織委員会チャリティ専門部会で選考を行う。

(3) その他

今回の専門部会で尾上達郎委員が退任し、次回専門部会から梶川拓也氏が委員として新たに加わる事が承認された。

以上